

地区社協の活動と取組を紹介します

宝永地区

歴史に寄り添って
地域が一体化した福祉活動

宝永地区には、「名勝・養浩館庭園」、「お泉水公園」、「市郷土歴史博物館」更には「歴史の道」などが存在します。また自治会の名称などにも「鍛冶町」、「鷹匠町」、「御駕町」、「江戸上りの組」などといった歴史が色濃く残っています。

そして毎年、春には「養浩館庭園のライトアップ」、夏には「お泉水フェスタ」のイベントを地区を挙げて開催する一方で、地区にまつわる歴史上の人物や風物を題材とした「歴史かるた」の作成も行ってきました。

こういったこともあって、地区内には、共助のことに力を惜しまない、「古き良き時代の昔気質」といったものがあり、地区社協が行う各種事業についても、地域の皆さんが進んで協力してくれる状況があつて、心強く思っています。

特に各自治会に配置されている福祉委員については、お年寄りの見守りのほか、食事サービス事業における手配や配食、デイホーム事業における参加募集やお手伝い、敬老会の参加募集やスタッフとしての役割、更には賛助会費や赤い羽根共同募金に至るまで、大変



サロン（自治会型デイホーム）と愛媛女子高校コーラス部との交流



食事サービス事業のお弁当と宝永小児童の皆さんによる弁当包み紙、絵手紙

な活動をしていただいております。

ともあれ今般のコロナ禍に伴い、福祉活動全般におけるひずみや活力の低下が生じておりますので、当面は、歴史に育まれた地域の特性に寄り添いながら、活動の水準をコロナ禍前までに引き上げるべく、決意を新たにしている次第です。

宝永地区社会福祉協議会

会長 松成 嘉實

本郷地区

人とひとで育む「きずき」「ふれあい」「きずな」「ぬくもり」「よひそら」「5つの福祉活動

本郷地区は福井市の西部、16の集落1団地が点在し、のどかな農山村地域です。また、温泉付き身障者施設「七瀬の郷」があります。

今回は活動の中から2つ紹介したいと思います。1つは、限界集落を抱えながらも豊かな自然に恵まれた環境の中で、安全、安心、安否確認のためにも、自治会型デイホームの充実と、参加者の減少に歯止めをかけるべく、日々努力をしています。毎年、専任職員を中心に、デイホーム協力員の方々との連携を密にして、年間の日時・予定を決め、指導員のきめ細やかな対応はもとより、毎回寄り添う会長のユニークなトーク、得意とする紙芝居、替え歌、川柳、スワップ三味線等々、二人三脚で頑張っています。専任職員が考案した「コロコロ」カーリングをはじめ、いろいろ



なアイデアを出しながらの催しは、時間をお忘れのほどであり、毎月の開催で

取り入れ、毎回好評です。さらに、男性の参加を促進するため健康麻雀を取り入れ、現在毎回5名の方が参加継続中です。また、地域全体をフォローした合同「デイホーム」で実施した「フロアカーリング」には90歳以上の人が参加するほどの盛り上がりです。

2つは、認知症予防講習会です。「コロナ禍により開催が中止になってしましたが、サポーター講習・訓練等を通じ、毎年実施した経歴が認められ、認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」に寄与したとして、令和2年には、市から表彰状もいただきました。小学生から高齢者まで幅広い世代において認知症に関する正しい理解が深まっております。安心して暮らし続けることができるよう、3月には講習会を再開する予定です。

少子高齢化が進む中、高齢化率の高い地区(3月1日現在35.53%)として、自治会をはじめ民生児童委員・福祉委員の皆様や各種団体、住民の連携・協働をさらに密にして、人とひとで育む「きずき」「ふれあい」「きずな」「ぬくもり」「よひそら」の安心して暮らせる地域福祉活動を進めたいと思っております。

本郷地区社会福祉協議会

会長 松並 久太夫